



平成 19 年 8 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社カッシーナ・イクスシー
代表者名 代表取締役社長 高橋 克典
(JASDAQ・コード番号：2777)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 小林 要介
電 話 03-5725-4171

中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績等の動向を踏まえ、平成19年2月28日の決算発表時に公表した平成19年12月期の中間期(平成19年1月1日～平成19年6月30日)の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 12 月期中間連結業績予想数値の修正 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

単位：百万円

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	5,260	313	150
今回発表予想(B)	5,167	241	145
増減額(B)－(A)	△93	△72	△5
増減率(%)	△1.8	△23.0	△3.3
(ご参考) 前中間期実績	5,248	305	73

2. 平成 19 年 12 月期中間個別業績予想数値の修正 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

単位：百万円

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	5,250	317	183
今回発表予想(B)	5,153	180	110
増減額(B)－(A)	△97	△137	△73
増減率(%)	△1.8	△43.2	△39.9
(ご参考) 前中間期実績	5,225	472	267

3. 中間業績予想修正の理由

中間期個別の業績につきまして、コントラクト事業部で大型案件を獲得したものの、同業他社との価格競争の激化や大口案件の粗利率の低下、来客数の減少によるショップ事業部の低迷等、市場環境は厳しい

ものとなり、生産・販売のコスト削減に努めましたが、期初よりのユーロ高も売上原価上昇の一因となり、収益を圧迫いたしました。これらの結果、連結及び個別とも売上高、経常利益及び当期純利益は、中間期業績予想を下回る見込みとなるため、上記のとおり修正するものであります。また、中間期連結業績の経常利益及び中間純利益の減少額が個別に比べ少ない理由は、持分法適用関連会社であるイタリア・カッシーナ社の持分法損益が当中間連結会計期間より黒字化したためであります。

なお、通期業績予想につきましては、下期に効果的な販売促進活動を行うことにより業績の回復を見込んでおり、前回公表と同様で変更はありません。

以 上